

資料 1

令和 4 年度「中学生オンライン交流会」報告書

1 目的

青梅市の将来を担う子どもたちが、「2032年未来の青梅」をテーマに他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、子どもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和 4 年 1 2 月 2 1 日（水）

午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加生徒

中学校 1 0 校（東中学校除く） 4 0 名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

1 5 : 0 0	開会	2 分
1 5 : 0 2	説明・注意事項	3 分
1 5 : 0 5	グループごとに意見交換	4 0 分
1 5 : 4 5	発表（各グループ 1 分以内）	8 分
1 5 : 5 3	市長・教育長講評	5 分
1 6 : 0 0	閉会	2 分

(2) 当日の役割分担

全体司会…泉中学校

開会挨拶…第六中学校

閉会挨拶…霞台中学校

グループリーダー・発表…「7 テーマ」の網掛けの学校

6 オンライン交流会で話し合う内容

(1) 「7 テーマ」のグループごとに、各校 2 名ずつに分かれる。

(2) 事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行う。

(3) グループで話し合ったことを 1 分間で発表する。

7 テーマ 「2032年未来の青梅」

テーマ		中学校
1	健康、医療、福祉	第二中 第六中 泉中
2	子育て、若者、教育	第一中 第七中 新町中
3	自然、環境、エネルギー	第一中 第三中 西中
4	都市基盤、防災、防犯	吹上中 新町中
5	伝統、文化、生涯学習、スポーツ	第三中 第六中 第七中
6	商業、工業、農業、林業、観光、雇用	西中 霞台中 泉中
7	コミュニティ、市民活動、男女平等、平和、人権	第二中 霞台中 吹上中

8 発表内容

(1) 若者・教育・子育て

今の青梅の魅力は3つあります。様々な世代が楽しめるイベントが多くある、自然が多い地域との交流が多い、保育園が多いなど子育て施設が充実しているです。

こう直すともっと良くなるどころ（悪いところ）は、身体を動かせる場が少ない、公園の遊具が少ないです。

2032年の青梅は、駅前の店を増やし、人がより集まる活

発なまちが良いと考えました。このようなまちにするために、ホットマンとディズニーのコラボ店、食べ歩きできる店を作るという取組ができたと思います。また、青梅の魅力を各中学校の生徒が動画にまとめ発信するアイデアができました。

(2) 健康、福祉、医療

青梅市の良いところは総合病院や総合体育館があるところ、バスの定期券があるところ、いのちの授業など、学ぶ機会があるところです。

改善点は、社会保障が少ないところ、小中で医療について詳しく知る機会が少ないところです。

2032年の青梅は、障がい者や高齢者が暮らしやすいまち、子育てがしやすいまちになっていることです。そのために、交流できる機会を増やす、エレベーターなどのバリアフリーを増やすべきだと思います。

(3) 自然、環境、エネルギー

青梅市の魅力は季節の変わり目を感じられることです。青梅市の直すと良いところは、手入れが行き届いていない森林、川、公園などにゴミが落ちていることです。

2032年には、自然やレトロなまちを残しつつ、観光客が賑わう青梅市にしたいと思います。

そのために具体的な解決策として、SDGsの意識を浸透させて、まちをきれいにしていくことや、青梅の自然やイベントをSNSを通して発信していくことが重要だと考えました。

(4) 都市基盤、防災、防犯

吹上中、新町中で出た共通の良いところがあり、それは大きな犯罪がないということです。しかし裏を返せば小さな犯罪はあるということです。また、犯罪の発生率を調べたところ、47市区町村中、38位ということで、犯罪は多くありませんが一番少ないわけではないことがわかりました。そのため犯罪についての対策が必要だと考え、その対策は街灯をつけてまちを明るくすること、道を広くして交通量を増やすことがあげられました。また、まちの雰囲気は穏やかなのは良いことだけ

ど、田舎だからという安心感で被害にあった方もいます。自然が多い分、土砂崩れなどの自然災害も多いので、その対策も大事だと考えました。これらを防ぐには情報を多く発信していくことが必要だと考え、若い方たちにはSNSで、高齢者の方たちには広報などを使って、全世代の人達にわかりやすく発信していくことが大切だと考えました。

(5) 伝統、文化、生涯学習、スポーツ

今の青梅の魅力は、青梅マラソンを行っているところ、100年200年受け継がれてきた伝統・文化があることです。ここを直すともっと良くなるところは伝統や文化をもっとつないでいてほしいです。2032年の青梅は青梅マラソン以外にも、青梅市全体で楽しめる行事やスポーツがあり、幅広い世代が青梅の伝統・文化に触れる機会を増やし、地域で継承していくことです。このようなまちになるためには、ポスター、パンフレットを作製し伝統的な行事や建物の紹介をする、学校でも青梅の伝統・文化について知る機会をつくることです。

(6) 商業、工業、農業、林業、観光、雇用

青梅の良くないところである昭和レトロに統一しないということがあがりました。青梅は昭和レトロをうたっていますが、駅前の商店街があまり昭和レトロに統一されていません。また、商店街はシャッターが多く閉まっており、閑散としている様子が伺えます。そのため、そのシャッターをスプレーアートなどでもっと若い人が来るようにしてみると良いという案がでました。また、青梅の問題点として、青梅の特産品はあるが、それが都心や都内に流通していないという問題点があげられました。しかし、青梅は元々物流のアクセスが良い土地であるため、その良さを生かして、青梅の特産品をもっと都内にアピールしていくと良いという案がでました。都心に青梅の特産品を販売するスーパーやコーナーがあると良いとかがえました。

また、青梅の良いところである自然が多いというところは、青梅の人達は知っているものの、都内の人達はあまり知らないという傾向があるため、青梅は自然があるということを都

内にももっとPRすると良いと思いました。

具体的にPRするものとしては、御岳山などの自然がある場所をPRすると良いと思いました。PRする方法としては、そのサイトを作って多くの人が見られるようにしたり、広告を駅に貼ったりしたほうが良いと思いました。また、青梅は自然が多くすばらしい土地ではありますが、あまり若い人達が来ているイメージがありません。そのため、もっと若い人達が来れるようにする施設を作ると良いと思いました。しかし、あまりにも現代的なものを作りすぎると青梅の景観を崩してしまうため、良い塩梅でやると良いと思いました。

(7) コミュニティ、市民活動、男女平等、平和、人権

今の青梅のいいところは、学校でスラックスの導入であったり、出席番号の男女平等があったりとか、地域では、清掃活動を行っている方がいるので、そこは青梅の魅力かなという意見がでました。

ここを直すともっと良くなる場所は、ゴミが多いということが原因で清掃活動を行っている方がいるのでそこを改善すべきかなと思ったのと、男女平等や市民活動について考える機会とか交流が少ないのでそこを増やしてみるべきだと思います。

青梅にどんなまちになってほしいか考えた結果、男女平等についてこれから大事になってくると思うので、青梅市が先陣を切って、男女平等について取り組んだりとか市民活動を活発化させていってほしいなと思いました。

具体的な取組としては、男女平等について一気に何か取組を行うのは難しいと思うので、まず、講演会を行ったりだとか、考える機会、中学生の方だったり地域の方にも講演を行って考える機会をつくって青梅市で行っている男女平等の活動についても広めていくべきと思いました。

市民活動を活発化させるためには、やはり行事を増やしたり、交流会を増やして、地域の方にも体育祭とかこういう講演会があると呼び込んで足を運んでもらうことが大事だと思います。

た。

青梅市の学校全体で清掃活動をする日を設けて、地域の方にも参加を呼びかける。活動に若い方が参加していないというのもでたので、景品だったりだとかを作ってお子さんがいる方にも参加してもらえれば、まちがきれいになるのもそうですし、地域の方との交流も増えるので地域活動の活発化の第一歩になるかなと思いました。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

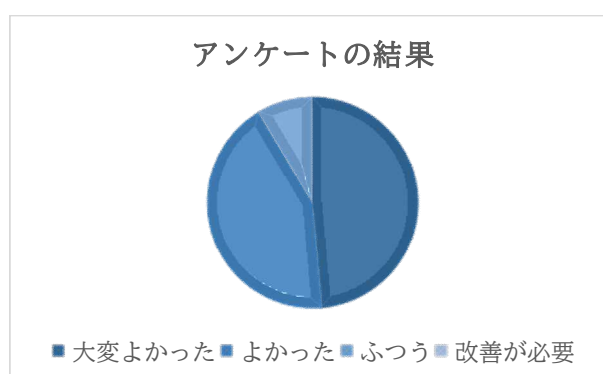
【全体】 35名

大変よかった… 17名

よかった… 15名

ふつう… 3名

改善が必要… 0名



(2) 令和4年度「中学生オンライン交流会」における各中学校からのテーマ発表について

ア 生徒

- ・ 青梅の魅力、改善点がわかったので良かったです。また、SDGsの大切さがわかりました。
- ・ 一つ一つのテーマ発表が具体的でわかりやすかった。どのテーマも意見がかぶってなくて、良いところ・改善するところ、ともにたくさんあると感じた。
- ・ どの学校でも「青梅をもっと良い町、市にしたい」、「もっとここに住みたいと言わせる市にしたい」といった気持ちを感じた。
- ・ 各中学校からのテーマの発表を聞いてどこの中学校も青梅市について考え、とても良い経験になったと思います。
- ・ 自分たちの学校では出ないような意見が聞けて参考にできていい体験ができました。
- ・ 自分が知らなかった青梅について新たな発見が多くありました。
- ・ オンラインで少し難しい部分もありましたが、それぞれの

学校で意見や質問をすることができました。普段できない他の学校の生徒会と交流ができたので良かったです。

イ 学校関係者

- ・生徒が司会、進行を務め、良い話し合いをすることができたと思います。ただ、テーマが漠然としているところがあり、考えるのが大変そうでした。
- ・生徒は慣れない他校のメンバーとも積極的にコミュニケーションをとって真剣に取り組んでいました。
- ・様々な意見が出ていて良い交流会だったと思います。
- ・テーマに沿った話し合いができていたと思います。司会進行の中学校は負担が多い中とてもよくできていたと思います。

(3) 自由意見

ア 生徒

- ・オンラインでは難しい面もあったが、よく意見がまとまった。もう少しにぎやかになれば更に良くなると思う。
- ・それぞれの学校で違う意見が出て見方を考えることができた。
- ・他校の人と接することが少ないので、各学校が思っていることを共有することが出来て良いと思った。
- ・僕らはまだこどもですが、そのこども一人一人の考えを尊重しようという今回の活動がすごく良かったと思います。
- ・今回、交流した話を市だけにまかせるのではなく、僕たち中学校もしっかりと良い青梅を作れるようにしていきたいと思います。
- ・テーマごとに分かれた時には全員で意見を聞き、質問もすることができたのでとても勉強になった。そして、市長や教育長のお話も聞くことができてとても有意義な時間になった。
- ・自分が住んでいる青梅の将来像を考えたことが無かったけど、この交流会で青梅の将来像を考える時間ができ、他の中学校の皆さんの意見を聞くことができて良かったです。

- ・ 質問があまり出ず、内容を深く共有できなかつたので質問を具体的に出せたら良かったです。
- ・ 改めて青梅市について考えるいい機会になりました。他の学校の方と交流する機会がいままでなかつたのでとても楽しかったです。
- ・ 今回やってみて思ったことはオンラインでも十分に会議が行えるけれど、相手の表情などを見ることができないところが難しいと思いました。
- ・ オンラインという形でもスムーズに行えるんだなと感じました。このような交流会で出た意見が青梅市の発展に繋がってくれたらうれしいです。

イ 学校関係者

- ・ 配布される資料が多い。同じようなものもありどれが正しい資料なのかわからなかつた。
- ・ コロナ対応を考慮したためかもしれませんが、一人一台別の部屋で参加したため、各校の生徒がその場で相談しながら交流会に参加することができず、議論を深めにくかつたように感じました。
- ・ 中学生の力で全てを回すこと（司会の進行など）は難しいと感じました。
- ・ やはりオンラインと実際に顔を合わせて交流するのでは交流の密度が全く違ふと感じます。オンラインだと淡々と話し合いが進んで交流という面ではいささか物足りなさを感じました。